



▲災害発生時の避難行動について説明する小岩内集落の松本区長



▲土石流の発生状況の説明を受ける岸田総理



▲災害時の避難行動に感銘を受けていました

「生活再建に全力で取り組む」と、力強い言葉 岸田内閣総理大臣・谷防災担当大臣視察（小岩内集落ほか）

9月4日、岸田内閣総理大臣と谷防災担当大臣が被災地の状況を視察しました。谷防災担当大臣は8月20日に引き続きこの日が2回目の視察で、激甚災害指定に向けご尽力いただきました。岸田内閣総理大臣は市長や復旧担当者からの説明を受け、まだ被災の爪あとが残る現状を目の当たりにし、集落の方々を前にして「生活再建に全力で取り組んでいく」と力強く話しかけていました。



▲小岩内集落の方々をねぎらう岸田総理

8月3日からの大雨による災害から2カ月 少しでも早く日常を取り戻すため

がんばろう!! 村上



▲今何が必要か、アンケートも実施



▲和食現代の名工、鈴木氏



▲思いのこもった3点の品々

大雨による被害の片付けと長期間の断水に見舞われた高根集落。こんな時だからこそ、少しでも集落の人に笑顔になってもらおうと、子どもたちが全ての世帯に支援物資などを配りました。

配られたのは、高根に届いた水などの支援物資のほか、高根出身で和食現代の名工、鈴木直登氏が作った折詰、新潟市のキッチンカーのおかずBOXの計3点。子どもたちは一軒一軒周り、「お弁当です」「支援物資です」と説明しながら手渡していました。

受け取った人たちは「かわいい子どもたちに届けてもらい、おかげさまでいっぱい元気をもらいました」と感謝していました。

荒川中学校3年生が、8月の大雨による災害で被災した坂町駅前商店街の事業者を訪れ、手書きのお見舞い文を手渡しました。

荒川中学校では、例年地元事業者の協力を得ながら地域貢献活動を行っており、今年5月にも駅前商店街の事業者へ地域貢献活動のアドバイスを求め、インタビューなどを行っていました。

中学校3年生は、「自分の家も被災してしまっただけで、通学路となっている駅前商店街の被災状況を見て、自分たちにも何かできることがないかと考えている。早く元の生活に戻れるよう、みんなで力を合わせて頑張っていきたい」と話していました。



▲事業者を訪ね、お見舞い文を手渡しました

困難な状況下でも笑顔届けたい 子どもたちが夏のサンタに。全世帯にプレゼントを届ける（高根集落）

水害復興に少しでも力になりたい 荒川中学校3年生が地元事業者をお見舞い（坂町駅前商店街）